

時系列浸水シミュレーションの留意点

- ・本データは、2024 年度 Project PLATEAU の補助事業であるいの町「3D 都市モデルを活用した災害リスクの可視化（洪水時系列シミュレーション）」において作成したデータです。

- ・レイヤーリストにおける時系列シミュレーションデータ

本件で開発した浸水シミュレーションは、仁淀川水系仁淀川の破堤点（仁淀川左岸 11.6 k、仁淀川右岸 11.6 k、仁淀川右岸 9.8 k、仁淀川左岸 8.2 k）及び仁淀川水系宇治川左岸 4.0 k が破堤する前の堤内地の浸水域の広がりや、浸水深の変化は、時系列で表現しておりません。

- ・レイヤーリストにおける【破堤前】時系列シミュレーションデータ

仁淀川水系仁淀川の破堤点（同上点）及び仁淀川水系宇治川破堤点（同上）の雨の降り始めから、破堤する前までの堤内地の浸水域の広がりや、浸水深の変化を時系列で表現しております。

- ・本データは、仁淀川水系仁淀川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）（令和 2 年 3 月公表）を入力データとしてシミュレーションした結果を CZML 形式で出力したものです。

- ・実際の氾濫の広がり方はこのシミュレーションで表示されるものとは異なる場合があります。一定規模の降雨により堤防の決壊や越水・溢水が生じ、氾濫するおそれがある地点を想定破堤点として示しており、実際に氾濫が起きる場合に、想定破堤点で堤防の決壊や越水・溢水が生じるとは限りません。また、想定される降雨を超えた大雨となった場合などには、これ以外の箇所からの氾濫が発生したり、氾濫する水の量が増えたりすることにより、浸水域が広くなることや、浸水深が大きくなる可能性があります。

- ・建築物等の高さと浸水位との関係は参考情報としてご利用ください。